

走水小学校保護者説明会 会議録

1 日 時 令和6年(2024年)12月1日(日)14:30~15:30

2 場 所 走水小学校 体育館

3 参加者 8名

4 事務局等 教育政策課 課長 飯田 達也
教育政策課 主査 大堀 圭輔
教育政策課 担当者 松本 勇人

5 議事内容

○飯田教育政策課長(事務局)

定刻となりましたので走水小学校保護者説明会を始めます。

本日は、8月8日の教育委員会での校名決定、9月18日市議会での条例改正の経過等をご報告するとともに、7月に開催した保護者説明会、11月11日に開催した合同学校運営協議会でのご意見を踏まえた通学の安全対策等についてご説明をします。

まず、確認をしますが、会議録作成のために、録音します。

また、会議録等はホームページにて公表します。

それでは、資料のご説明をします。

○大堀教育政策課主査(事務局)

それでは資料の説明をします。

資料の4ページをお開きください。

学校名決定についてです。

教育委員会では、8月8日に開催した教育委員会8月定例会及び9月18日に開催した市議会9月定例議会において、走水小学校と馬堀小学校の統合後の学校名を馬堀小学校に決定しました。

学校名決定までの経緯です。

まず、学校名の募集をし、応募数が184件、候補数が71候補集まりました。

5ページをご覧ください。

その後、合同学校運営協議会で絞り込みを行っていただき、71候補から以下の表の17候補に絞っていただきました。

6ページをご覧ください。

その後、8月8日に開催した教育委員会定例会において、統合後の学校名を決定する議案を提出しました。

17候補全て提出したという形です。

学校名の候補が1つではなく17候補であることから議決に当たっては、過半数を得るまでの投票を行うこととし、投票の結果、馬堀が3票、走馬が2票となりました。

馬堀が過半数を得たため、学校名案として馬堀を選定し、教育委員の採決の結果、総員一致により馬堀に決定したという経緯です。

その後、市議会9月定例議会において、統合後の学校名を馬堀小学校とする市立学校設置条例の改正議案を提出し、9月18日の本会議において議決されたという経緯です。

7ページをご覧ください。

教育委員会定例会における学校名の決定理由についてです。

8月8日の教育委員会定例会では学校名が17候補となることから、教育委員による投票によって決定しています。

教育委員には、令和4年5月から走水・馬堀地域における教育環境整備の検討状況をさまざまな場面で報告しています。

学校名の決定に関しては、提出した議案及び説明資料に加え、これまでの報告等を踏まえ、各委員が総合的に判断し投票した結果、学校名が決定しました。

長い歴史の中で地元に着していることから、学校名を残した方が良いという意見と、統合に関して、元の学校名ではなく新しい学校名にした方が良いという意見があった中で、馬堀に3票、走馬に2票という投票結果になりました。

学校名の決定についての説明は以上です。

次に通学の安全対策についての説明です。

10ページをお開きください。

1として、京急バスの通学定期券代の全額助成をします。

助成対象者は現走水小学校区の全児童、1、2年生及び特別支援学級の保護者のうち、付き添いが必要な方です。

助成期間は統合後12年間、令和7年度から令和18年度になり、市内でも既に通学路が遠距離となっている地域もあることから、今後、全市的な遠距離通学に対する方策を検討していきます。

12年間の助成期間終了後はこちらの全市的な方策を適用する予定です。

2として、停留所における児童の見守りを配置します。

なお、見守りはシルバー人材センターに依頼する予定です。

3のバス車内等における対策としては、全児童に防犯ブザーを配布します。

11ページご覧ください。

路線バスを利用する理由については、京急バスの実績、安全安心の担保、今後も安定的で持続可能な仕組みとしているため、公共交通機関である京急バスを活用するという考え方です。

13ページからは登校の状況についてです。

続けて、14ページをお開きください。

登校時の対応です。

令和6年度の日課ベースで、馬堀小学校に8時20分までに登校するため、8時10分頃に馬堀中学停留所に到着するバスが必要となります。

バスダイヤ1本の時間変更を含めて、2本のバスが登校に利用できると想定しています。

ラビスタ観音崎テラスの停留所に、見守りを2人配置し、対象となるバスにそれぞれ乗車し、各停留所で呼びかけをし、馬堀中学停留所で児童と一緒に降車することを考えています。

15ページです。

利用停留所の想定です。

表において、各停留所の乗車の状況です。

ラビスタ 19 人、南谷戸 1 人としていますが、導線上、19 人の内数人が南谷戸を使用することも想定されます。

16 ページをお開きください。

登校時のバスの時刻表です。

京急バスが登校時間に合わせて、バスのダイヤを 1 本変更していただきます。

馬堀中学に 7 時 52 分着のバスと、時間変更した 8 時 12 分着のバスが登校時間に対応したバスです。

18 ページをお開きください。

下校時の対応です。

令和 6 年度の日課ベースで、馬堀小学校から 3 校時下校が 11 時 45 分頃、4 校時下校が 13 時 15 分頃、5 校時下校が 14 時 50 分頃、6 校時下校が 15 時 30 分頃に利用できるバスが必要となります。

馬堀中学停留所で待っている間の交通整理や、安全確保のため、見守りを配置します。

馬堀中学停留所の屋根設置は、歩道の幅員確保ができないため設置不可ですが、歩道橋の下を改修し、雨や日差しをしのげる待合スペースとして整備する予定です。

下校時は、学年ごと等で下校時間が分散されるため、既存のバスダイヤで対応が可能と想定しています。

19 ページは、下校時の現行のダイヤです。

下校時間と網掛けがそれに対応するバスダイヤです。

20 ページをお開きください。

こちらは、馬堀中学の停留所の状況です。

見守りの人を配置するとともに、歩道橋の下を改修し、待ち合いスペースとして整備します。

22 ページをお開きください。

以降は、ご意見等への回答です。

問 1、信号機の設置は、現時点で不可でも、継続して要請してほしい。

書面で、要望ではなく、要請として扱ってほしい。

仮に信号機が付かなかった場合に、地域の見守り頼みにせず、対策をしてほしい。

というご意見です。

信号機の設置については、伊勢町の横断歩道、走水神社の横断歩道に設置のご要望をいただいていますので、12 月 9 日に横須賀南警察署へ書面で要請文書を提出する予定です。

また、国道事務所にも、注意喚起のための道路標示ができないか要望をしています。

23 ページです。

問 2、停留所の屋根の設置について要請し続けたい。

以前は屋根が付いていたと思う。

それならば設置可能ではないか。

というご意見です。

停留所の屋根設置には、原則、歩道幅が最低 2 メートル確保できることが目安になり、歩道の幅員が確保できないことから、設置困難です。

なお、国道事務所に確認したところ、南谷戸停留所の上り線には、過去に屋根が付いて

いたことが確認できましたが、歩道より後方の民地に設置されており、設置や撤去の経緯は不明でした。

登校時には、観音崎始発のバスが時間どおりに到着するので、屋根を設置する必要性は高くないと考えています。

下校時の馬堀中学停留所は、付近の歩道橋下を待合スペースに改修する予定です。

また、学校の昇降口等屋根がある場所でバスの時間まで待機させることも考えています。24 ページです。

問3、馬堀中学の停留所の歩道橋の階段下は使えないか。

また、屋根は自衛隊官舎の敷地部分まで使えば設置できないか。

というご意見です。

前述のとおり、歩道橋下を待合スペースに改修する予定です。

自衛隊官舎の敷地を利用した屋根の設置については、対応不可という回答を横須賀地方総監部よりいただいています。

問4、馬堀中学停留所の歩道橋下のスペースに、屋根や風を遮るフェンスを設置できないか。

というご意見です。

歩道橋下の改修は、雨や日差しをしのげる待合スペースとして整備します。

待ち時間を短くするため、学校でウェブのバス接近情報を確認できるよう、昇降口にモニター等の設置を予定しています。

25 ページです。

問5、バス接近の電光掲示板も設置に向けて要請し続けたい。

というご意見です。

電光掲示板の設置については、現在の停留所に電気が通っていないため、設置は困難と思われる。

対応策として、学校においてウェブのバス接近情報を確認できるよう、昇降口にモニター等の設置を予定しています。

問6、アプリ等で下校したことの通知を出せるようにできないか。

幼稚園で入退室の通知が来るサービスがある。

というご意見です。

下校時の通知サービスは、管理面や運用面等の課題があることから、導入は困難であると考えます。

下校時に寄り道をせずにバスに乗って下校することなどは、通学の指導として、学校と協力して実施していきます。

26 ページです。

問7、停留所の見守りは、なるべく同じ人が行き、児童がバスに乗ったか分かるようにしてほしい。

歩いて帰らないため、バスに乗ったか点呼を取る等できないか。

というご意見です。

地域ボランティア等とは異なり、教育委員会から事業者に対して業務委託して人員配置するため、同じ人が見守りを行うことは困難と思われませんが、地域の方や身近な方が配置されることを想定しています。

歩いて帰らないよう、学校とも協力し、通学路の指導の中で対応していきます。

問 8、登校時は停留所まで見守ることは出来るが、下校時にバスを間違えずに乗れるか不安がある。

というご意見です。

停留所に見守りを配置しますので、違う行先のバスに乗車しないように呼びかけを行います。

27 ページです。

問 9、低学年が降りる停留所を間違えないよう、運転手等が教えてもらえないか。

というご意見です。

京急バスには、児童が通学に利用するため、安全運転や、降車時の声掛けなどをお願いしています。

問 10、下校時間がバラバラとのことだが、児童が帰る時間は、見守りが確実にいるようにしてほしい。

というご意見です。

学校の日課に合わせて見守りを配置し、児童だけで停留所を利用することがないようにします。

28 ページです。

問 11、停留所側でなく、学校側に見守りを立てて、道路を横断しないよう確実に歩道橋を渡るように指導等してほしい。

というご意見です。

通学路の指導の中で、道路を横断しないように指導をしていきます。

見守りの配置については、統合によって新たに発生するバス通学に係る停留所付近への配置を予定しています。

問 12、バスの到着が近くなってから下校させ、待ち時間を短縮させてほしい。

夏の暑い日、冬の寒い日、雨の日など、時間どおり来ないバスを待ってられない。

というご意見です。

学校において、ウェブのバス接近情報を確認できるよう、昇降口にモニター等の設置を予定していますので、バスが近づいてきてから、停留所に移動できるようにします。

29 ページです。

問 13、希望者には、車での登下校でも良いのではないか。

運動会、授業参観、個人面談など、行事で学校へ行く時は、現走水小学校区の方は車で行かせてほしい。

というご意見です。

原則、車やバイクでの来校はご遠慮いただいています。

身体のけが等で校内に車が入りたい場合は、学校に相談いただければと思います。

30 ページです。

問 14、市内に通学する小中学生の保護者に対して、「登下校のお知らせ」のメール配信をしてけるとありがたい。

また、GPS 機能付きブザーの方が防犯ブザーよりありがたい。

というご意見です。

下校時間は学校からお知らせを配布していますので、ご確認ください。

なお、大幅な下校時間の変更がある場合は、マチコミ等でお知らせします。

保護者がお持ちのスマートフォン等の機種、持っていない方への対応等、全市的な公平

性の観点の問題もあり、GPS 等の配布は、申し訳ございませんができません。

31 ページです。

問 15、遅刻、早退などの時は、通学証明書で対応していただけるのか。

保護者のバスの乗車時間が決まっていると聞いた。

特別支援学級で行きしぶりや早退など多い児童がいると思う。

また、通常級でも遅刻、早退はあると思う。

時間がずれたら自費になるのか。

というご意見です。

児童と、付き添いが必要な保護者には、定期券助成を行います。

定期券を所持していただきますので、指定のバスに乗らなければいけないということはありませんし、費用が発生することはありません。

32 ページです。

問 16、ダイヤ改正されて、うまく分散されるのか。

偏りが出て混雑にならないか。

乗れるかもしれないが、子どもが安心して乗車できるのか。

安心・安全につながるのか分からない。

というご意見です。

現在のバスの利用状況を踏まえて、1本で全児童が乗り切れると見込んでいますが、バスダイヤの変更により、登校時2本のバスが利用できる予定です。

子どもが安心・安全に乗車できるように、京急バスにも配慮を求めるとともに、通学における安全教育等について、学校と連携して指導していきます。

33 ページです。

問 17、トラブル等でバスに間に合わないこともあるかもしれない。

そのようなことが起きたときの対策をした方が良い。

というご意見です。

通学路の指導や、緊急時対応のマニュアル作成等が考えられますので、学校と調整します。

問 18、馬堀中学停留所の歩道橋下で待っていた時に、バスの運転者から見えなくて通過してしまうということがあると困る。

京急バスに必ず一度止まるなど、配慮をお願いしていただけたらありがたい。

というご意見です。

京急バスに要望としてお伝えします。

34 ページは学校体制についてです。

問 1、統合前に何回か馬堀小との交流があるが、それだけですんなりなじめるのか心配。
というご意見です。

現在のふれあい相談員は、走水小学校と馬堀小学校の両方を行き来していて、状況を把握している相談員を来年度も配置する予定であり、不安のある児童への相談体制を整えます。

また、校内教育支援センターを開設し、授業になじめない、不安がある児童の対応は手厚くしています。

問 2、保護者の学校見学、保護者同士の交流会、馬堀小学校の教育の取り組み、方針等親が知りたいことを聞くことができる場がほしい。

というご意見です。

11月13日、14日に、学校公開日を実施し、走水小学校の方にも参加いただきました。そのような場で、学校の様子の確認や交流を図っていただければと思います。

行事・交流の中でご質問があれば、学校にお問い合わせください。

その他についても、何かあればその都度学校にお問い合わせいただければと思います。35 ページです。

問3、特別支援学級に在籍している。

現在の様子、授業、先生との関わり等知りたい。

個別の対応や、在籍人数が多いため、現在のように見ていただけるか不安。

というご意見です。

支援級の児童については、一人一人、事情が異なると思いますので、個別に馬堀小学校にご相談ください。

36 ページは教員配置についてです。

問1、馬堀小学校になった時、走水小学校の先生は何人程度いるのか。

学校が変わり、通学の仕方、クラスの生徒数による人の関わり方等、大きく変化するため、知っている先生がいれば子ども達も安心できると思う。

というご意見です。

児童・保護者が不安なく統合後の学校生活が送れるよう、走水小学校の教職員を一定程度、馬堀小学校へ配置します。

資料の説明は以上です。

○飯田教育政策課長（事務局）

ただいまの説明についてご質問等がありましたらお願いします。

○参加者

学校名の決定について、配布されている市議会だよりにおいて、在学中に学校名が変わってしまった子どもたちに対しては手厚く説明をしていただきたいがいかがか、という質問に対し、きちんと子どもたち、先生方、保護者の方に寄り添った形をとりたいと書いてあります。

その寄り添った形というのは、いつ行ってくれますか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

学校名については、申し訳ありませんが、本日の資料で説明している内容が全てです。

○参加者

こちらから学校名の募集をしてほしいと言ったわけではなく、対等な統合で新しい学校になるので名前を募集します、という形で募集に当たったと思いますが、結果は誰がどう見ても公平ではありません。

誰もが作られた結果だと思います。

子どもにアンケートをとっているのに、委員の方たちに聞いていないから答えられませんかということでは、子どもが将来何を言っても駄目だということで教育上精神的に良くないと感じます。

いかがでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

おっしゃるとおり公平な統合ということで、まずは皆さまのご意見をお伺いしようということで募集をしました。

理由も添えて多くのご意見を頂戴し、そこから教育委員会で絞り込むのは難しい部分もありましたので、皆さまの代表者が集まる両校の合同学校運営協議会において絞っていたという形です。

合同学校運営協議会でも変えた方が良くという意見と変えない方が良くというご意見が両方あり、絞り込みが難しかったというところはあると思いますが、絞り込んでいただいた中から教育委員の判断で投票して決めたという経緯ですので、決め方としては間違っていないかと思っています。

一定の決め方の中で決まったということ、お子さんにもご理解いただければと思っています。

○参加者

市議会で、一つに絞られたらその名前になりましたか、という質問に対して、なりましたと言われていました。

しかし、合同学校運営協議会では5つに絞ってくださいと言われていました。

5つに絞ってくださいと言われたら5つに絞ると思います。

その返答の仕方も不信感があり、委員の方も選んだ理由を説明する義務があるという話も聞いたことがあります。

今後の統合でこのやり方をしていくのかは分かりませんが、このようなやり方を続けていったら横須賀の子どもたちはかわいそうだしやめてほしいと思います。

もう一度その部分を話し合っていていただいて、このようなやり方はやめていただきたいと思っています。

○大堀教育政策課主査（事務局）

まず、先ほどのご意見の中で作られた結果だという話がありましたが、決して作られた結果ではありませんので、ご理解いただきたいと思っています。

最初から作られているのであれば、応募はせずに教育委員会で決めています。

もう一つ、公平ではないということですが、皆さまのご意見を聞いて、皆さまの代表で絞っていただいた中から選んでいます。

ご納得のいく結果ではなかったかもしれませんが、公平な決定だと考えています。

また、合同学校運営協議会でも1つに絞るのが難しいでしょうからということで5つ程度とご説明しています。

合同学校運営協議会委員も結局17個までしか絞れませんでした。

ご意見としては今後の参考にしたいと思います。

○参加者

委員の方たちも、馬堀の方から馬堀小学校が良いと言われれば、馬堀小学校にはできない、とは言えないと言っていました。

この結果は公平ではないと私は思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

教育委員会としては公平な方法であったと認識しています。

○参加者

やり方は公平かもしれませんが、結果は公平ではありません。

○大堀教育政策課主査（事務局）

納得されないのは申し訳ございませんが、納得されている方もいらっしゃいます。

○参加者

それでも、このようなやり方はやめてください。

○大堀教育政策課主査（事務局）

今後の参考にしたいと思います。

○参加者

朝の停留所に見守りを2人配置されるということですが、どなたが配置されて、どなたがバスに乗りますか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

シルバー人材センターにお願いしたいと思います。

シルバー人材センターは地域の60歳以上の方が会員登録をし、その方が従事するというものです。

そのため、常に同じ人が従事するというのではないと思いますが、地域の顔見知りの方が配置されると考えています。

シルバー人材センターでは既に人材の確保を進めております。

今までボランティアでやっていた方もいらっしゃると思いますが、シルバー人材センターとして従事すれば賃金も発生するので、そのような仕事をしてみたいという方は、シルバー人材センターにお問い合わせいただければと思います。

○参加者

バスが8時12分に到着ということで、20分から学校が始まるとすると8分で学校に行って、朝の会までの準備がバタバタするのではないかと思います。

4月になる前に、改正されたダイヤでも子どもたちが余裕をもてるような時間があるのか、説明していただきたいと思います。

先日、馬堀小学校の雰囲気が見たいということで授業参観にも参加しましたが、ただ授業を見るだけで、その学校の細かいことは全く何も見ることも聞くこともできませんでした。

すぐに帰られた保護者の方もいました。

他にそのような時間が作ってもらえるのであれば、本日のように体育館で校長先生や教頭先生などが説明する時間があれば、保護者はもう少し安心して4月を迎えられるのではないかと思います。

○大堀教育政策課主査（事務局）

朝の時間については5分前倒しということで、基本的には間に合うと思っています。

もう少し前倒しをご要望ということであれば、今後も京急バスと調整の機会はありますので、ご相談させていただければと思います。

馬堀小学校の様子等については学校との相談になりますので、本日の説明会でこのようなご要望が出たということをお伝えしたいと思います。

○参加者

停留所の屋根について、以前、住民の方と国交省の方が9月あたりに立ち合いで現地を見るという話があったと思います。

その後、三者でやり取りするのではなく国交省と市でやり取りをするということに変わったと思いますが、その立会いというのはなくなったのでしょうか。

やり取りしていた住民の方が、それから何も音沙汰がないと言っていました。

○大堀教育政策課主査（事務局）

屋根の設置はできませんので、立会いも必要ないと考えています。

○参加者

その住民の方は細かくやってくれていて、教育委員会の方も電話でお話されたと思うので、その方にはその旨を説明するべきだったと思います。

音沙汰がないということで気にされていたので、これを機に伝えたいと思います。

○参加者

定期券の助成について、これは保護者が定期券を購入し、それに対して後払いという形の助成方法をお考えでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

定期券の助成については京急バスと調整をしているところです。

京急バスの定期券交付のルール、市役所の公費支出のルール等を突き合わせて調整をしているところです。

現状考えているのは、教育委員会から申込書と証明書を皆さまにお送りし、それを持って京急バスの営業所や案内所で引き換えていただくという方法です。

今後も京急バスと調整しますので、2月頃に定期券交付等の手続きについてご説明できればと思います。

○参加者

特にこの地区では、定期券販売の場所が横須賀中央か久里浜の営業所しかなく不便です。購入しに行くのが難しい方も出てくるのではないかと思います。

後でお支払いといった形ではなく、何か違う方法があればもう少し保護者の負担としても違うと思うので、手に入れる方法を検討の中に入れていただくようにしてもらえると助かります。

○大堀教育政策課主査（事務局）

そこは重々承知していますが、お子さんの定期券ですと年齢確認や本人確認が必要になってしまい、難しい部分もあります。

ただ、負担軽減が必要だというのは認識していますので、考えたいと思います。

○参加者

登校時のバスの時刻は4月からということですが、現状でも走水地域からバスに乗って馬堀小学校に通っているお子さんもいます。

4月からではなく少し早い段階でそのダイヤに変えていただいて、その子供たちがそのダイヤで問題なく通えるかどうか確認してもらえれば現実味が出てきて分かるのではないかと思いますがいかがでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

バスについては既に通われているお子さんもいらっしゃいますが、これまで学校同士の交流の中で、京急バスのご協力を得ながら実際にバスに乗る練習等をしている状況もありますので、そのような形で慣れていただければと思っています。

○飯田教育政策課長（事務局）

16 ページの時間は現時点のダイヤです。

来年4月にまたダイヤ改正があるのではないかと考えていて、ダイヤ改正に合わせて考えていかなければいけません。

本当に8時6分ラピスタで余裕があるのかという議論もしなければいけません、京急バスの4月のダイヤが決まるのは1月頃だろうという話を聞いています。

そこで確定したら改めて、8時6分が良いのか3分が良いのか、という時間を決めて、その上でご意見をいただいたようなことができるか検討したいと思います。

○参加者

資料のとおり4月1日にやってみて、これでは駄目だという場合は学校に言って、そこから伝えていただければ良いですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

学校に言っていただいても教育委員会に言っていただいても結構です。

○参加者

変更してほしいことや現状を伝えたら、すぐに検討するなり、確認するなり動いてくれるということですか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

これで終わりとは考えておらず、例年通学路の点検もありますので、それも含めて引き続きお話をいただければと思います。

○参加者

現在、中学生はバスが1本しかないのにそれに乗っています。

8時6分に上手く流れるかという不安があり、余裕がないので結局中学生も今のままの時間に乗り、小学生もみんな乗ることになったら満員になってしまうのではないかと思います。

分散するのか気になっています。

○大堀教育政策課主査（事務局）

ご心配は伺いました。

なお、田浦地域は人数が多いので、登校班を設けようと考えています。

必ずというわけではありませんが、住所によって乗るバスの時間を分けます。

ご自宅が停留所から遠い地域はゆっくりの時間、近い地域は早めの時間というように調整して分散するよう考えているので、また検討したいと思います。

○参加者

来年の1年生の保護者はとても心配されています。

上にお子さんがある方はこのような説明会や資料で分かっていますが、一番上の子が来年1年生の方はどのようなになっているのか、説明会があるのかということを知りたいです。

1年生になるときに就学説明会はあると思いますが、馬堀に関係のないバスの件なども話をしてくださるのでしょうか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

定期券の話もありますので、改めて場を設けて説明したいと思います。

○参加者

バスの時間について、8時12分では1年生の足では厳しいと思うので、もう少し早くしていただいた方が良くと思います。

降りるところが小学校よりファミリーマート側で遠いです。

乗るところよりも遠く、学校を過ぎたところで降りるので、そのようなのも考慮して時間を決めていただきたいと思います。

また、美術館で催し物があったときに、待っていても素通りされることが多々あったと聞いているので、京急バスにそういったことがないようにしていただければと思います。

○飯田教育政策課長（事務局）

美術館については、今回かなり混雑したという話は聞いています。

今後このようなことがあるかは分かりませんが、あったときには個別に対応したいと思います。

バスの時間については、どの程度早めることをご要望ですか。

5分ほど早めるイメージですか。

○参加者

5分ほど早め、8時ラビスタが一番良いと思います。

それが難しく8時6分ラビスタなら、8時25分に着いても遅刻扱いにしないといったように学校で考慮していただくしかないのではないかと思います。

○飯田教育政策課長（事務局）

京急バスと相談する際の参考にしたいと思います。

ありがとうございます。

○参加者

ダイヤ改正については、5分前倒しにさせていただいたとして、それでもまだ問題がありそうな場合に、どういったスパンでダイヤ改正が可能なのでしょうか。

京急バスとどの程度やり取りをしていて、どの程度の単位で変更が可能なのか確認したいです。

関係を密にさせていただいて、最初の頃は慎重に見ていただいて、要望が届きやすいような体制を取っておいていただきたいと思います。

○飯田教育政策課長（事務局）

次のダイヤについては12月から1月頃に京急バスと調整したいと思っています。

2月頃にはそういったダイヤ等についてご説明できるようにしたいと思います。

その後、随時修正していかなければいけないところもありますので、そのあたりは対応していきたいと思います。

ただ、ダイヤ改正をすると停留所の表示なども全て変えなければならず、かなり大変だと聞いており、1か月や2か月の単位で改正というのは難しいと思います、ご了承いただければと思います。

○中川走水小学校長

登校の時間が8時20分となっておりますが、馬堀小学校の先生方もこれを気にしてくださっており、日課表の調整をして8時25分にできないかという検討をしてくださっていると聞いています。

それもあわせて教育委員会と時間のやり取りを丁寧にしながら検討していただければと思います。

私が承知しているのは、馬堀小学校の先生方が、8時20分だと走水の子どもたちが少し難しいのではないかということで日課表を25分にずらすということを検討してくださるということです。

○参加者

定期券の有効期限はどうなりますか。

○大堀教育政策課主査（事務局）

教育委員会としても1年の定期券にできないかということで京急バスに相談しましたが、6か月が最大だという話です。

誠に申し訳ありませんが、手続きがあるとすると半年おきという形にはなってしまいます。

○参加者

定期券を忘れた場合、バスに乗らずに家に取りに帰るのでしょうか。

融通が利いてバスの運転手に何か言えば大丈夫であれば子どもも安心できます。

中学生でも定期券を忘れたと言ってバスが来ているのに走って帰る子もいます。

親が送っていける家庭だけではないので、定期券を忘れたときのことも検討していただけたら良いと思いました。

○大堀教育政策課主査（事務局）

京急バスの対応になるので、ご要望はお伝えしたいと思います。

○参加者

これはこの説明会のことではありませんが、本日は日曜日でこれからPTAの行事があるにも関わらず、これだけしか保護者が集まっています。

学校名の件にしる、これまでの統合の話し合いの中で、少なからず保護者の中では意見を言っても仕方がない、走水の子は人数が少ないので馬堀に入れてもらうような形になるという気持ちを持っている保護者がたくさんいるということは認識していただきたいと思っています。

私は、もう少し保護者が来ていただけたらと思うので、これしか集まってないということがとても残念で、統合に対して言っても仕方がないと思っている保護者がたくさんいるということを実感しました。

今回の統合は、横須賀の統合の先駆けになるのではないかと思います。

これから多くの統合が始まっていくと思いますが、説明会ももう少し保護者が来るような意見の取り方、対応をしていただければ、本日ももっと来ていただけたかもしれないと

思います。

これからの課題として、他の学校が統合するときにはここを一つのたたき台にしていたで、もう少し最後まで保護者説明会に人がたくさん来るように頑張っていたいただきたいと思いい見しました。

○飯田教育政策課長（事務局）

いろいろな方にご参加いただき、ご意見をいただきました。

ご納得いただけなかった部分も当然あるかと思ひます。

今後、統合というのは横須賀市として必ずやっていかなければいけない話ですので、今いただいたご意見を参考にしながらやっていきたいと思います。

○参加者

学校の行事予定等の中で、先生方の会議の中に小中一貫に関する会議のようなものがあるのを拝見しています。

これは、遠い先での小中一貫校という意味合いでの話し合いということなのか、近いうちに予定があるのか、いかがでしょうか。

○飯田教育政策課長（事務局）

小中一貫に関する日というものを年に3日間設け、それぞれの小学校と中学校の中で、中学校のブロックごとに小中学校の先生に集まっただいて、いろいろな研究や発表等をしていただいています。

これについては、今後小中一貫校をやっていこうということではありません。

小学校から中学校に上がったときに、中1の壁というものがあるのではないかというところが前提になっており、それを何とか解消して小学校と中学校が連携することにより、小学校から中学生にうまく上がっていけるようにという検討を先生同士で行う取り組みです。

ご質問いただいたような、小中一貫校といった話はしていません。

○参加者

定期券の更新について、最大でも半年というお話でした。

最初に作るときは保護者が出向いて作らなければいけないというのは分からなくもないですが、半年おきに更新となるとその都度保護者は行かなくてははいけません。

京急バスとの話し合いになると思ひますが、例えば授業参観のタイミングなどで京急バスの方に来ていただいて更新の手続きをするなど、保護者が負担にならないような形を取っただきたいです。

最初の定期を作るときにしても、特殊な事情で走水小学校の方は市の方から助成を受け定期券を作るという形になるので、京急バスとしても別枠でまとめて学校で手続きをしもらうなどといったことができれば負担にならずに済むと思ひます。

○飯田教育政策課長（事務局）

なるべく手間がかからないように検討します。

通常の市役所のやり方だと、一度立て替えていただいて後から助成するという形が大前提になります。

ただ、それは保護者負担が大きいということで現物をお渡しするという方法を京急バスと調整しています。

その先の更新についても、できる限り軽減できないかということは京急バスのお知恵も借りながら検討していきます。

それでは、以上で本日の走水小学校保護者説明会を終了します。